

第五次大阪狭山市総合計画策定に向けた意見交換会

～ 大阪狭山市の未来を語る集い～

報告書

令和2年3月

大阪狭山市

## 目 次

1．意見交換会の概要	1
2．意見交換会の結果	2
参考資料	16

# 1 . 意見交換会の概要

---

## ( 1 ) 目的

第五次大阪狭山市総合計画策定に向けた意見交換会～大阪狭山市の未来を語る集い～（以下「意見交換会」といいます。）は、市が、令和 3 年度（2021 年度）から令和 12 年度（2030 年度）までを計画期間とする新たな総合計画「第五次大阪狭山市総合計画」を策定するにあたり、市民協働・市民参画を基本とした取組みを進めるため、「まちづくり市民会議」による提言書等を踏まえ、主に地域のまちづくりについて広く意見を聴取し、計画に反映することを目的として開催しました。

意見交換会は、公募による参加者等により、以下のとおり実施しました。

## ( 2 ) 当日の実施概要

### 1 ) 日時

令和 2 年 2 月 1 日（土） 10:00～12:00

### 2 ) 場所

市役所南館 2 階 講堂

### 3 ) プログラム

1 . 開会

2 . あいさつ（意見交換会の趣旨）

3 . 第五次大阪狭山市総合計画の概要等

4 . 意見交換会

( 1 ) 全市及び地域の未来について

全市及び地域の生かしていきたいところ、改善していきたいところ

全市及び地域で取り組みたいこと

行政が支援すること

( 2 ) 意見の発表・意見交換

5 . 閉会

### 4 ) 参加者数

20 人（狭山中学校区 8 人、第三中学校区 6 人、南中学校区 6 人）

## ( 3 ) 追加意見募集

意見交換会開催後、当日の意見を整理した資料及び追加意見記入シートを参加者に郵送し、追加意見を募集しました。

募集期間：令和 2 年 2 月 18 日～2 月 28 日

## 2 . 意見交換会の結果

---

### (1) 主な意見のまとめ

意見交換会当日意見、追加意見をもとに、全市又は地域の生かしていきたいところ、改善していき  
たいところを踏まえ、取り組みたいことを、「地域の取り組み」と「全市の取り組み」に分けて整理しま  
した。取り組みたいことを除く行政全般に対するご要望やご意見などは、「その他意見」として整理  
しました。

#### 地域の取り組み

##### 《狭山中学校区》

狭山池や副池周辺の自然環境を生かした地域の活性化  
通学路の安全対策や、登下校時の見守り活動の継続  
企業、団体、大学などと連携した取り組みを進めていくための仕組みづくり  
大阪狭山市駅前にレンタルオフィスを開設

##### 《第三中学校区》

高野街道などの歴史資源の魅力を活用し、住民同士がつながる機会づくり。関係人口の増加

##### 《南中学校区》

ごみ集積所における不法投棄を抑制するための啓発看板や防犯カメラの設置  
地域の環境美化活動の担い手の高齢化に伴い、安全で継続して取り組める仕組みの検討

#### 全市の取り組み

若者に対する地域資源の周知、郷土愛の醸成  
高齢者や子どもの交通安全の確保。交通マナーを高める取り組み  
若者を含む現役世代も地域活動等に参加しやすい仕組みづくり  
住みよいまちとしてのイメージの維持。SDGsの推進  
地域における子どもや世代間の交流ができる場づくり  
自治会の人材確保や育成  
子ども会の復活・再生  
災害時にも生かせるコミュニティづくり  
空き家、空き店舗等の活用

#### その他意見

防災・防犯対策  
生涯学習、文化・歴史施策の推進（交流の拠点となるような図書館の整備、歴史資源の情報発  
信など）

コンパクトシティ、スマートタウン化、高齢者の買い物支援、公共交通等の移動手段の確保  
市内 3 駅周辺の活性化  
農家への支援  
自然環境の保全  
大学の移転計画による移転後の跡地、医療、自然、暮らしへの不安  
その他行財政運営全般に対する意見・要望

## (2) 地域毎の意見

< 狭山中学校区 >



地域の取組みについて【 意見交換会当日意見 ○追加意見】

分野	地域の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	地域で取り組みたいこと	行政が支援すること
自然環境	狭山池、副池周辺の自然環境の良さを市全体の方々が知っているところ。	狭山池の遊歩道、自然を生かす。	狭山池の有効活用 狭山池の活性化 美しい狭山池のPR 狭山池ツアーの実施 狭山池を中心とした文化ゾーンの充実 狭山池の魅力アップ 大阪狭山市の中心・顔としての狭山池 狭山池の水面に図書館を新設。図書館への導線として周遊路の新設
交通安全	子どもの見守りの担い手育成ができていない。 大阪狭山市駅前の道が狭い。通学時、危ない。 狭山池をランニングする人とウォーキングする人(ペットの散歩)のマナー。 道が狭い中で皆がマイペースで通行している。不安。 河内長野美原線の歩道が整備されていないところが多い。 河内長野美原線は朝と夕方が混みやすく、通学児童にとって危険である。	引き続き、登下校時の児童見守り活動に取り組んでいく。 狭山池をランニングする人とウォーキングする人(ペットの散歩)のマナー向上。互いを理解する。 自転車マナー向上(キープレフト、携帯) 横断歩道での車両の一時停止が完璧なまち。「停まる気満々！」	河内長野美原線の歩道整備。 道路拡幅 危険箇所を整備。
官民連携・協働	企業、団体が行政とコラボレーションをしたいと思っても、市役所のどの窓口にも問い合わせすればよいか非常にわかりにくい。	大阪狭山市駅付近にレンタルオフィスを開設し、市外の企業・団体に利用してもらうことにより、新しい事業スキームを構築する。	「大阪狭山市官民連携デスク」を設置し、企業・団体の相談・協力依頼を受ける窓口を一元化する。また、市役所側も企業団体へ積極

分野	地域の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	地域で取り組みたいこと	行政が支援すること
	お互いに win-win の関係を結んでいるのか、市民に連携・協働の内容を報告できていない。	堺市へ移転する 2 つの大学とより一層地域課題の解決をともに取り組んでいく。	的にアイデアを提案・相談していく。

全市の取組みについて【 意見交換会当日意見 ○追加意見】

分野	全市の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	全市で取り組みたいこと	行政が支援すること
子育て		若者、子育て世代の地域参画 小・中学生に対して、まち歩きで地域資源を知ってもらい愛着を育む。	行政は政策で支援。
地域福祉	地域福祉の充実のためのコミュニティづくり	介護予防への取組 地域福祉の充実 うつ、孤立、閉じこもりへの対応	行政はサービスの提供者ではなく、今後は市民・民間とのコーディネーター役に。 福祉施設の利用時間延長と経費節減
交通安全		車両・歩行者ともに交通マナーを遵守する。	
住みよさ	適度に田舎で住みやすい。 住んで良いまち、住み続けたいまちという意識の方が多いところ。 人と人との助けあい、つながりの希薄化。何かあったら対応できない。 新興住宅が増えて、若い子育て世帯が増加。	住みよいまちのイメージを、これからも維持する。 クリーンアクションを多くの箇所を実施する（ごみの減量にもつながる。）	● 住みたいまちという印象を、もっと取り上げるべき。
コミュニティ	顔見知りの人が多く、外に出ると会話がたくさん。 地域の既存団体のメンバーはいつも同じであり、世代交代がされない限り、前年踏襲の年間スケジュールで活動することがほとんどである。 会社員は平日地域活動に取り組む余裕がないので、休日でも参加しやすい組織を運営すべきである。	だんじりのない地域には青年団がないので、若者が地域コミュニティに参加しやすい仕組みをつくる。 応援村構想 ラグビーW杯で「にわかファン」が増えたように、たとえ「にわか」であっても、地域全体が夢中になれる時間の共有。 住民の助けあい 自治会への加入 お互いを見守りに関心を持つ。 地域行事への積極的な参加。 子ども会の復活 「地域公共人材図鑑」を発行することで、地域リーダーの洗い出しができ、同じ	地域担当職員を配置し、市役所内で各地域の現状把握の共有に努める。 市の全職員が進んでボランティア活動に取り組み、市民との距離感を近づけていく。

分野	全市の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	全市で取り組みたいこと	行政が支援すること
		志のある人を地域活動に巻き込んでいく。 休日にカフェ感覚で参加できる交流スペースを開く。	
協働	成熟した市民協働	成熟した市民協働と継続性の模索 各団体(組織)間の合理的交流と相乗効果の向上 各市民団体(組織)の合理化	成熟した市民協働と継続性の模索 企業とのコラボレーション
SDGs、持続可能なまちづくり	SDGs の市民認知は向上しているものの、具体的に何をすればいいのか行動に移せない人がたくさんいる。	「市民 SDGs マイスター」というような人材資格を創設し、SDGs に取り組むための心構えをテーマとした講座や交流会を開く。	SDGs17 の取組、全網羅。SDGs の狭山版をつくる。行政も SDGs に取り組むアピールをもっとする。 「大阪狭山市版 SDGs 取組方針」を掲げ、SDGs を共通言語として、市政に取り組むと共に、パートナーシップの強化・深化に努める。

その他意見【●意見交換会当日意見 ○追加意見】

分野	全市及び地域の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	全市及び地域で取り組みたいこと	行政が支援すること
防災			2020 年度版(平成 25 年版 2020 年版)を早急に作成して対策を行う。
生涯学習、文化・歴史	生涯学習に対する意識が低いところ。		図書館の充実 歴史・観光資源の再認と発信 狭山藩北条氏のことを知らない人が多い。もっと PR すべき。 本のある生活は教育の基本 現代社会にマッチした図書館づくりを 「富山市立図書館・ガラス美術館」のような大阪狭山市民の交流の拠点整備
公共交通等	校区内に 3 駅あって、交通の便が良い。 駅が 3 駅あり、沿線については比較的利便性が高いところ。 買い物難民 南海 3 駅と公共施設へのアクセスが不便な地域(市南部)がある。		オンデマンドタクシーの導入(予約制かつ安価利用) ホンダテクノロジーカレッジと連携・協力しながら、自動車を用いたアクセス改善に取り組む。
近畿大学病	近畿大学病院は長い歴史に		商工会を通じて調査され、

分野	全市及び地域の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	全市及び地域で取り組みたいこと	行政が支援すること
院移転	<p>おいて次のメリットがあった。</p> <p>1) 医療設備の充実により“住みよいまち”のランク上位を保持させた。</p> <p>2) 病院関係者の教授、学生等が賃貸住宅に居住することにより家賃収入、飲食物及び上下水道等の収入があった。</p>		<p>ポスト近大の影響は小さいとされたが、当方は調査されていなく現実に収入が減少しつつある者にとっては信じがたい。</p> <p>現在、別の病院等を調査中と聞かすが、上記メリットを再整理及び定量化して、メリットが得られるように許認可を行って欲しい。</p> <p>「ポスト近大」の施策</p>
駅活性化	<p>大阪狭山市駅、無人駅の件</p> <p>サテライトオフィス・コワーキングスペース(狭山駅)</p> <p>狭山駅の活性化</p> <p>駅周辺の活性化</p> <p>狭山駅前の整備が必要</p> <p>狭山駅周辺が店が少なく不便。コンビニ、本屋があってほしい。</p>		
空き家(有効利用)	空き家対策		権利関係があるので行政とコラボ
コンパクトシティ (この市だからできる大きさ)	<p>「コンパクトシティ」にする。</p> <p>区画整理にて活性化</p>		道路沿線 積極的用地買収
行財政	●現状(情報)の共有と市民 関心度の向上		<p>市民関心度の向上</p> <p>議案(取組項目)の先出し 土日に市民が交流できる場をつくる。</p> <p>→肩ひじはらずに総合計画のアイデア</p> <p>市は市民の意見を聞く機会を</p> <p>「まちづくり」の意見交換会の発信の強化を要望する。</p> <p>取組みに優先度を付けた時に、それを市民に示す。</p> <p>市の財政状況、財政収支見直しを総合計画に示すべき。</p> <p>情報収集(先行事例を含め)をして、「こんな取り組みがあるよ」という案をたくさん提示すること。</p> <p>行政の情報収集と、市民への開示・共有</p> <p>→トップセールス 情報公開</p>

分野	全市及び地域の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	全市及び地域で取り組みたいこと	行政が支援すること
			行政が何を重点的に支援しようとしているのか、優先順位の明確化 行政発信の情報の一方通行の解消 大学や就職で市外へ転職した人と大阪狭山市の情報を定期的に共有できるようにオンライン活用 日常的目安箱 →インターネット難民を視野に まちづくりの中には自主財源を増やす施策が必要・一流企業（東証一部上場企業）誘致 法人市民税 職員の意識改革 「サービスの提供者」から、官・民・企業が協力してまちづくりを進めるためのコーディネーターへの転換
情報化	個人情報保護、プライバシー保護の確保についての正確な理解		

< 第三中学校区 >



地域の取組みについて【 意見交換会当日意見 ○追加意見】

分野	地域の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	地域で取り組みたいこと	行政が支援すること
地域資源の活用	高野街道 大阪狭山固有の歴史を魅力づくりに生かしたい。	狭山池、高野街道といった大阪狭山固有の魅力を活用 住民同士がつながる機会づくり 関係人口を増やす。	市と共創

全市の取組みについて【 意見交換会当日意見 ○追加意見】

分野	全市の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	全市で取り組みたいこと	行政が支援すること
子ども・教育・世代間交流	子ども会等、子どものコミュニケーションの場が少なくなっている。	学校を拠点とした地域の子ども、大人がつながる場(コミュニティスクール)づくり スポーツを通しての子供会の再生 地域の中、地域の人を中心となった子ども居場所、集まる場づくり	子どもが自分から安心して集まれる施設 少子化を逆手にとって、小・中学校を統合するなどして、新しい教育の場づくり(子どもたちは送迎バスなど) 小学校区、もしくは中学校区単位に、地域(自治、PTA、学校)の人と一緒に運営する公民館の設置 生涯教育の推進 まちづくりを進めていくために、地域の人育てのための教育(学習)充実
商業活性化		店舗の共有化 1店舗の中に小規模店を複数つくるなど	商業にもつながる 空き家、空き店舗、空地の活用
環境美化	緑豊かであること	住む環境の魅力として緑を残したい。 花壇の寄附をする。	
コミュニティ	人との関係が良好 協力性がある。	若者の参加推進(30~50歳)	今、それぞれの市民協働を担えている団体、人を維持

分野	全市の生かしていききたいところ、改善していききたいところ	全市で取り組みたいこと	行政が支援すること
	自治会への加入率（自治会への加入が建物毎である以上、加入の増加には限界があると思う。）	祭や盆踊りを通じて、子どもや若い人たちと共にやっていきたい。 炊き出し等を通じて、災害時に役に立てたい。 人の顔がわかるコミュニティづくり 地域の中での更なる細分化 独居や自治会に入れないといった編み目から落ちた人にとっても住みよいまちづくり マンダラトチャートを活用して課題に取り組む。 賃貸住宅入居者や集合住宅入居者が地区の自治会に加入できるような緩和策、もしくは新たなコミュニティの形態の模索が必要	継続するための支援。 使いにくさの改善。 世代間交流施設の民営化、住民主体。 行政の各グループを横串に。実践できる行政G（担当）や会議体をつくる。 中学校区より、小学校区で地域の問題を考えるべき。 共に方法を考える 市としての方向性を出すなど
多文化共生	外国人居住者が今後も増加する傾向にある	優しい日本語の導入 災害時にも生かせるコミュニティづくり	
空き家、空き店舗等の有効活用	テーマ型の団体の活動が活発	色々な活動団体の活動拠点になるようなコミュニティ、まちづくり（空き家、空き店舗の活発な活用）	左記のバックアップ
公共交通等	地域の発展と交通安全対策のギャップ 移動手段の確保 敷地内の管理の分担 交通アクセス、地域差がある。 金剛駅から自宅までの交通改革。スマートタウン化	市内での環境の差があることへの取り組み	車に乗らない年代の公共の移動手段 電動自転車レンタル タクシー会社との連携 歩道整備、道幅と段差の改善 道路の改善 歩道の整備

その他意見【●意見交換会当日意見 ○追加意見】

分野	全市及び地域の生かしていききたいところ、改善していききたいところ	全市及び地域で取り組みたいこと	行政が支援すること
駅周辺開発	金剛駅、周辺の開発		
ごみの不法投棄	ごみ問題、農地等への不法投棄		ごみ問題解決（農地等への不法投棄）への支援
コミュニティ	地域、人口減 開発地域との交流ができていない。		
行財政			○総合計画と各グループの施策の関係性を明確にしてお

分野	全市及び地域の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	全市及び地域で取り組みたいこと	行政が支援すること
			<p>く必要がある。  1 つのグループでは収まらない課題を他グループとネットワークを組みながら解決すべき。</p>

<南中学校区>



地域の取組みについて【意見交換会当日意見 ○追加意見】

分野	地域の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	地域で取り組みたいこと	行政が支援すること
ごみ収集	一部ゴミ集積所において、ゴミシールを貼らずに放置されている袋を見かける。	○もっと強く警告する本格的な看板の設置や防犯カメラの設置など、地域の環境問題として今後積極的に対応策を検討	ゴミ集積所におけるこのような不法投棄を警告する看板を地区会に支給するような支援
環境美化	環境美化活動の従事者の高齢化や、隣組の構成人員の減少に伴い、安全面の観点からこれまでどおり道路側溝の清掃を続けることが相当に困難な状況になっている。	○道路の側溝のような危険性の高い清掃については、今後どうすべきか本格的に検討する必要がある。狭い道路の清掃を安全にできるようにする。	大阪府への取り次ぎ支援やシルバー人材センターの活用、民間業者への業務委託など、支援に向けた検討が必要である。

全市の取組みについて【意見交換会当日意見 ○追加意見】

分野	全市の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	全市で取り組みたいこと	行政が支援すること
高齢者対策	高齢者の交通安全対策が必要である。目配りがある安心づくりのため、具体策のさらなる検討が必要である。	高齢化が進む中、地域活力をどう維持するか。そのための子どもの頃からの教育にも取り組む。高齢者はもちろんだが、子育て層を含め、全世代を意識した取り組みも必要である。	高齢化が進む中での交通確保策が必要である。循環バス、新しい仕組み、カーシェアリング等が考えられる。高齢者の買い物支援が必要である（スマホでのタクシー利用等）。
防災・防犯	防犯カメラのさらなる設置が必要である。	防災・防犯組織を機能的にする。	防災と防犯をセットで教育をする（防災・防犯ステ-

分野	全市の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	全市で取り組みたいこと	行政が支援すること
			<p>ション)。          現在設置されている地域防犯ステーションを拡大発展させ、学校でも「自助・共助の大切さを教える場」として「地域防災ステーション」の導入に向け、市が地域防犯・防災ステーションの設置に向けて取り組んでいただきたい。これが実現できれば、地域単位で若い世代の父母の方々と自治会関係者が交流でき、コミュニティの醸成に役立つことが期待できる。</p>
コミュニティ	ミニ開発の場合には、自治会がない。	地域でできることは地域もがんばる(担い手、次世代の確保)	<p>自治会の人材確保と育成について、行政もさらなる支援をしてほしい。          ミニ開発地を含め、自治会ができるように、みんなが地域に関わる。</p>

その他意見【●意見交換会当日意見 ○追加意見】

分野	全市及び地域の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	全市及び地域で取り組みたいこと	行政が支援すること
公共交通等			にぎわいのあるまちのため、イオン周辺に金剛駅のバスセンターを再整備する。 交通アクセス手段として、オンデマンドタクシー（寝屋川市）を参考にしてほしい。
大野ぶどう	大野ぶどうの後継者の確保が必要である。 大野ぶどうのさらなる活用が求められる。		大野ぶどうは、家族で経営しており、実態を捉え、継続できるように支援してほしい。 ふるさと納税返礼品としての大野ぶどうは、品質管理のできる配送をしてほしい。 アシストスーツの活用等、農家への支援をしてほしい。
空き家			空き家の種類を踏まえた対策が必要である。
自然環境等	自然やあまの街道、地域の景観を守る。 地域のみinnで 50 年経つ桜を保全する。 花いっぱい運動を、どう維持、盛り上げるか。組織だけではなく個人で行う仕組みも必要である。		西除川、三津屋川を、きれいにしてほしい。 ニュータウンが開発されて 50 年経つ。木の手入れや、遊具等の老朽化が進んだ公園をきれいにし、魅力的な公園にしてほしい。 小さい公園の統廃合、再配置を進めてほしい。
大学等移転	近畿大学病院、帝塚山学院大学狭山キャンパスの移転等、暮らしへの不安がある。 近畿大学病院の移転により、跡地、医療、自然がどうなるか。		
行政			●市役所と地域がお互いにより理解すべきである。 市民活動、イベントに市職員はもっと関心を持ってほしい。 地域の取組みのすきまを行政が埋める。 地域別計画には市から地域へ期待することもあればよかった。 各セッションが一堂に集ま

分野	全市及び地域の生かしていきたいところ、改善していきたいところ	全市及び地域で取り組みたいこと	行政が支援すること
			<p>り、市民と意見交換できる場がほしい。</p> <p>行政は各部門間の連携をさらにしっかりと進めてほしい。</p> <p>本来の市民協働の趣旨を再確認が大切である。そのため、行政、地域との相互の意見を合わせる。</p> <p>市民アンケートは、校区ごとに事情が異なるため実情に合った設問等の設定も含め、きめ細かい取り組みが必要である。</p>

## 參考資料

# 第五次大阪狭山市総合計画策定に向けた意見交換会

## ～大阪狭山市の未来を語る集い～

日時：令和2年2月1日（土）

場所：市役所南館 2階 講堂

### プログラム

- |                                |             |
|--------------------------------|-------------|
| 1. 開 会                         | 10:00～10:01 |
| 2. あいさつ（意見交換会の趣旨）              | 10:01～10:05 |
| 3. 第五次大阪狭山市総合計画の概要等            | 10:05～10:30 |
| 4. 意見交換会                       | 10:30～11:55 |
| （1）全市及び地域の未来について【70分】          |             |
| 全市及び地域の生かしていきたいところ、改善していきたいところ |             |
| 全市及び地域で取り組みたいこと                |             |
| 行政が支援すること                      |             |
| （2）意見の発表・意見交換【15分】             |             |
| 5. 閉 会                         | 11:55～12:00 |

### 配付資料

第五次大阪狭山市総合計画策定に向けた意見交換会～大阪狭山市の未来を語る集い～（スライド）

市民意識調査結果の概要

中学校区毎の人口及び世帯数の推移

「まちづくり市民会議」提言書（抜粋）

第五次総合計画の施策体系（素案）

## 第五次大阪狭山市総合計画策定に向けた 意見交換会

～大阪狭山市の未来を語る集い～

令和2年2月1日(土)

1

## 第五次大阪狭山市総合計画

### 第五次大阪狭山市総合計画策定方針(平成30年5月)

- (1) 計画の役割と位置付け
  - 大阪狭山市自治基本条例に基づき策定
  - 長期的な展望に立ち、本市の将来像の実現に向けた取組みを進めるための指針とする。
- (2) 計画期間
  - 令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)の10カ年計画
- (3) 計画の構成
  - 体系別計画
  - 地域別計画(各中学校区のまちづくりの方向性)(新たな取組み)

2

## 総合計画とは

＊ 大阪狭山市自治基本条例の趣旨に則り策定する大阪狭山市の最上位計画

大阪狭山市自治基本条例  
(総合計画)

第22条 市長は、市政運営の指針となる総合計画を策定し、総合的かつ計画的な市政運営を行うものとする。

2 市長は、総合計画の策定に当たっては、市民の意見を反映させるため、あらかじめその計画に関する情報を市民に提供し、広く市民が参画できるように努めるものとする。

3

## 総合計画策定までの流れ

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
基礎調査	第四次総合計画の進捗状況の分析	市民アンケート調査 基礎調査・大阪狭山市の現状分析 学識者懇談会の開催	
市民参画	まちづくり市民参画による調査 主要部局への調査	市民アンケート調査(再編)、世代を問わず子どもたちや事業者の意見聴取 意見交換会の開催	パブリックコメントによる意見聴取
職員参画	職員提案制度	総合計画プロジェクトチーム事務局の開催 総合計画策定委員会の開催	基本構想案及び基本計画案の作成
審議会			総合計画策定委員会の開催 基本構想案及び基本計画案の審議・最終

4

## 第五次総合計画 基本構想(素案)

### 総合計画の構成と期間

基本構想: 10年間 【令和3～12年度(2021～2030年度)】  
 長期的なまちづくりの基本方針

基本計画: 10年間 【令和3～12年度(2021～2030年度)】  
 施策体系と具体の取組内容

実施計画: 3年間  
 取組みを構成する事業事項

5

## 第五次総合計画 基本構想(素案)

### 体系別計画と地域別計画の関係

体系別計画  
基本構想  
基本計画

市の施策と連携

地域別計画

地域ごとの特性や課題を踏まえ、地域におけるまちづくりの方向性を示すもの

6

## 第五次総合計画 基本構想(素案)

### まちづくりの課題

1. 少子高齢化・人口減少社会への対応
2. ライフスタイルや価値観の多様化への対応
3. 安全・安心への対応
4. 地球環境への対応
5. ICTの普及と社会の変化への対応
6. 持続可能なまちづくり

7

## 第五次総合計画 基本構想(素案)

### まちづくりの基本理念

(第四次総合計画)

まちづくりの中心に「人」を位置づけ、一人ひとりが豊かな人間性をつちかい、互いの人権を尊重しあいながら、安心していきいきと生活できる、すべての人にやさしいまちづくり



(第五次総合計画)

第四次総合計画の考え方を引き継ぐとともに、これまでのまちづくりの成果を踏まえ、人と人、人と地域がつながり、誰もが居場所や役割を持つことができるすべての人にやさしいまちづくり

8

## 第五次総合計画 基本構想(素案)

### 《将来像》

(検討中)

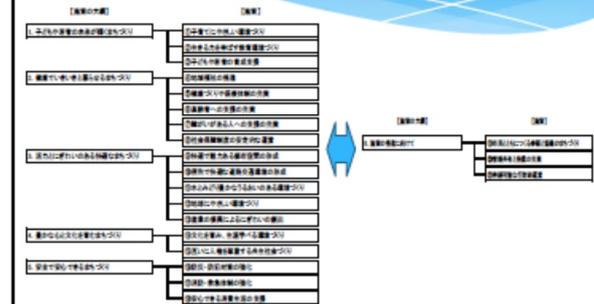
- 子どもや若者の未来が輝くまちづくり
- 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
- 活力とにぎわいのある快適なまちづくり
- 豊かな心と文化を育むまちづくり
- 安全で安心できるまちづくり

### 《施策の大綱》

- 《施策の推進に向けて》
- 市民とともに作る参画と協働のまちづくり
  - 情報共有と発信の充実
  - 持続可能な行財政運営

9

## 第五次総合計画 基本計画(素案)



10

## 地域別計画(イメージ)

(各中学校区のまちづくりの方向性)

- 第五次総合計画では、より地域の実情に沿ったまちづくりを進めるため、新たに「地域別計画(各中学校区のまちづくりの方向性)」を策定します。
- 「地域別計画(各中学校区のまちづくりの方向性)」は、「まちづくり市民会議」での議論を踏まえつつ、地域主体によるまちづくりの方向性とそれを支える行政の施策について、取りまとめたものです。

「地域別計画(各中学校区のまちづくりの方向性)」の策定までの流れ



11

## 地域別計画(イメージ)

狭山中学校区(例示)



- 活かしていきたいところ(地域の長所)
- 改善していきたいところ(地域の課題)
- 行政が取り組むこと
- 地域で取り組みたいこと(まちづくり市民会議の提言から)

12

# 第五次大阪狭山市総合計画策定に関する市民意識調査報告書（概要版）

## I 調査の概要

### (1) 調査目的

本調査は、第五次大阪狭山市総合計画策定の基礎資料とするため、市民を対象にアンケート調査を行い、市の現状や将来のまちづくりに対する意識やニーズを把握することを目的とする。

### (2) 調査の設計

調査対象地域	大阪狭山市全域
調査対象	大阪狭山市内在住の16歳以上の市民3,000人
抽出方法	住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	配布・回収；郵送
調査時期	平成31年4月24日（水）～令和元年5月10日（金）

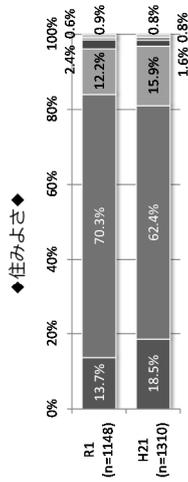
### (3) 回収結果

配布数	3,000件
回収数	1,148件
回収率	38.3%

## II 大阪狭山市の印象

### (1) 住みよさについて

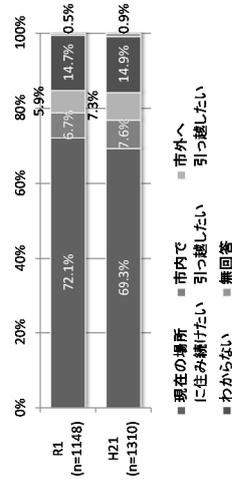
「非常に住みよい」と「住みよい」を合わせると84%となり、令和元年は平成21年に比べて3.1ポイント増加した。



### (2) 定住意向について

「現在の場所に住み続けたい」が72.1%で一番多く、令和元年は平成21年に比べて、2.8ポイント増加した。

また、「市外へ引っ越したい」は5.9%であり、令和元年は平成21年に比べて1.4ポイント減少した。



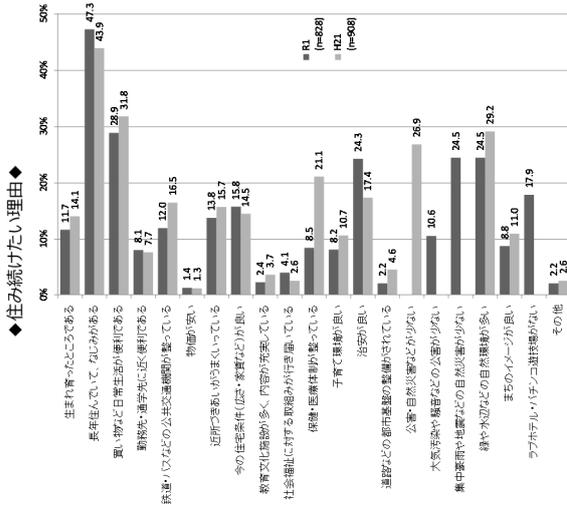
## 第五次大阪狭山市総合計画策定に向けた意見交換会 2020/02/01・資料

# 市民意識調査結果の概要

### (3) 住み続けたい理由

住み続けたい理由は、「最年住んでいてなじみがある」が47.3%と一番多く、ついで「買い物など日常生活が便利である」28.9%、「緑や水辺などの自然環境が多い」が24.5%と上位となっている。

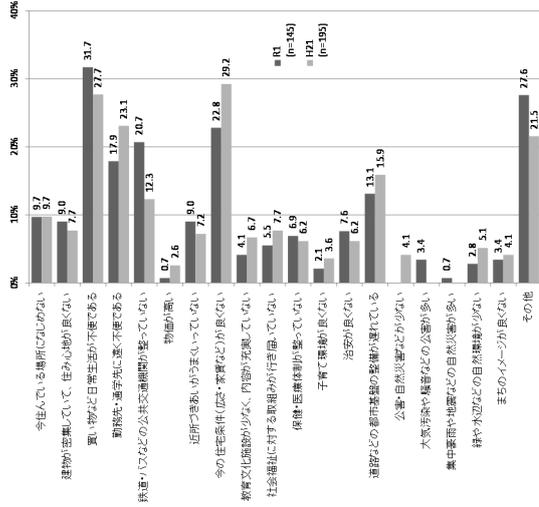
また、令和元年は平成21年に比べて「最年住んでいてなじみがある」が3.4ポイント、「治安が良い」が6.9ポイント増加した。



### (4) 引っ越したい理由

引っ越したい理由は、「買い物など日常生活が不便である」が31.7%、「今の住宅条件（広さ・家賃など）が良くない」が22.8%、「勤務先・通学先に遠く不便である」が17.9%と上位となっている。

また、令和元年は平成21年と比べると、「鉄道・バスなどの公共交通機関が整っていない」が8.4ポイント増加した。



### Ⅲ 大阪狭山市が取り組んでいる施策についての重要度・満足度

#### (1) 重要度

「重要である」と「やや重要である」の合計を『重要度』とすると、最も『重要度』が高かったのは、「水と緑を守り、親しむことができる環境づくり」と「うるおいのある美しいまちづくり」が同率で91.0%となっている。ついで「いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進」が90.9%となっている。

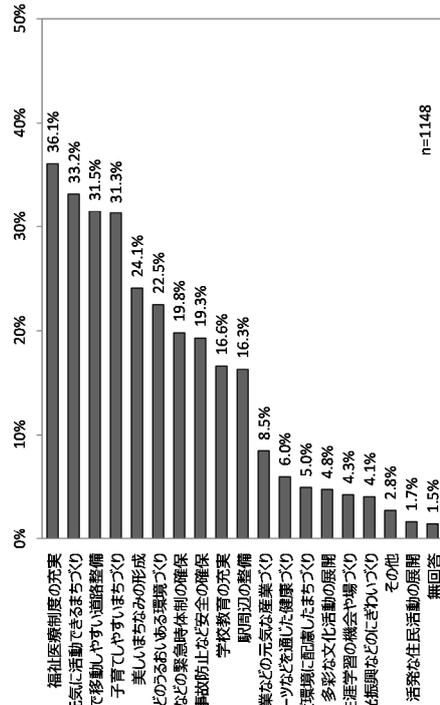
#### (2) 満足度

「満足」と「まあ満足」の合計を『満足度』とすると、最も『満足度』が高かったのは、「水と緑を守り、親しむことができる環境づくり」で46.2%、ついで「消防・救急体制の整備」が37.7%となっている。

	重要度の高い項目	満足度の高い項目
1	水と緑を守り、親しむことができる環境づくり	水と緑を守り、親しむことができる環境づくり
2	うるおいのある美しいまちづくり(1位同率)	消防・救急体制の整備
3	いつまでも元気で暮らせる健康づくりの推進	信頼できるライフラインの充実
4	ともに実践する循環型社会づくり	うるおいのある美しいまちづくり
5	高齢者に安心な福祉サービスづくり	ともに実践する循環型社会づくり

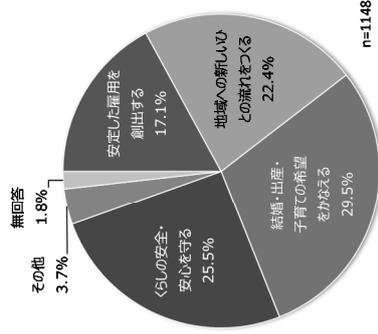
### Ⅳ 重点分野について

ずっと住み続けたいと思うまちにするために、今後力を入れるべき分野として、「福祉医療制度の充実」が36.1%と最も多く、ついで「高齢者が元気に活動できるまちづくり」が33.2%、「徒歩や自転車移動しやすい道路整備」が31.5%、「子育てしやすいまちづくり」が31.3%となっている。



### V 人口減少対策について

人口減少を克服し、活力ある社会をめざして取り組むべきことについて、最も重視すべきこととして、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」が29.5%、「くらしの安全・安心を守る」が22.4%、「安定した雇用を創出する」が17.1%となっている。



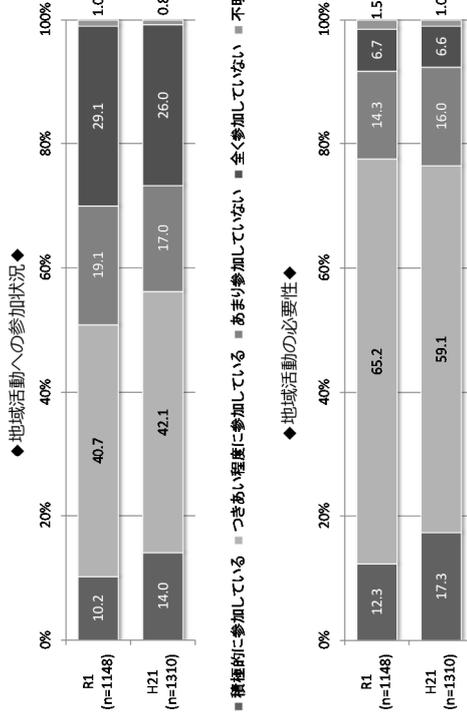
### Ⅵ 地域活動について

#### (1) 地域活動への参加状況

地域活動への参加状況は、令和元年は平成21年に比べて、「積極的に参加している」が3.8ポイント減少し、「全く参加していない」が3.1ポイント増加した。

#### (2) 地域活動の必要性

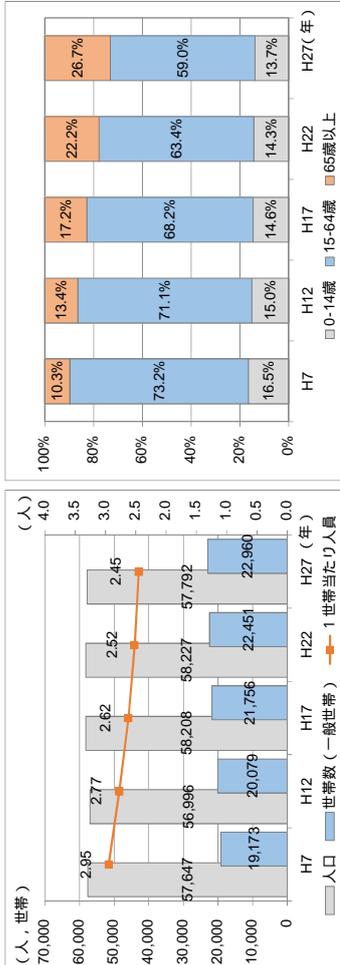
地域活動の必要性は、令和元年は平成21年に比べて、「大いに必要」が5ポイント減少し、「ある程度は必要」が6.1ポイント増加した。



## 大阪狭山市の人口と世帯数の動向

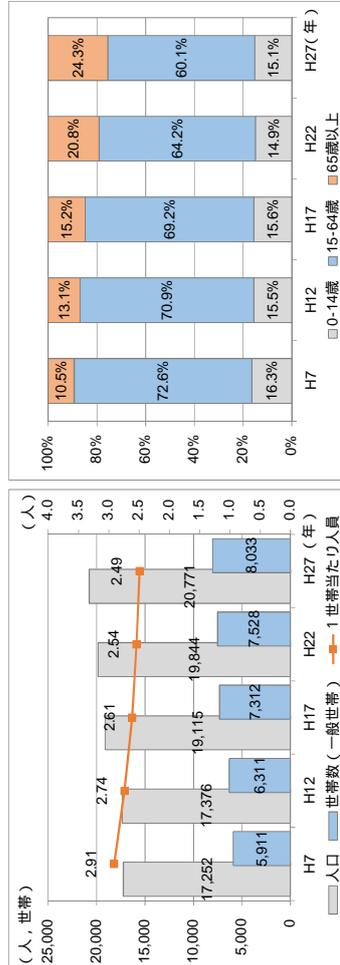
### 【全市】

高度経済成長のはじまりとともに、人口は増加しはじめ、特に、昭和45年（1970年）から昭和50年（1975年）の5年間は187.8%と大阪府内随一の人口増加率（対前年度比）を呈しました。国勢調査による人口は、平成7年以降は横ばいですが、住民基本台帳による人口は、周辺都市の人口が減少する中、令和元年（2019年）8月末に58,769人と過去最高の数値を残すなど、微増の傾向を示しています。世帯数は増加していますが、一世帯当たり人員は減少を続けており、世帯の小規模化が進んでいます。



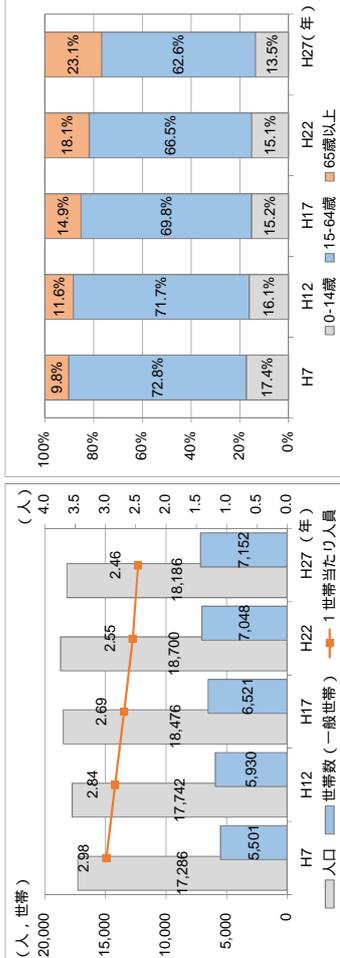
### 狭山中学校区

国勢調査による人口は、平成7年以降増加を続け、平成27年には2万人を超えました。少子化、高齢化が進みますが、他の中学校区に比べるとその傾向は緩やかです。世帯数は増加していますが、一世帯当たり人員は減少を続けており、世帯の小規模化が進んでいます。



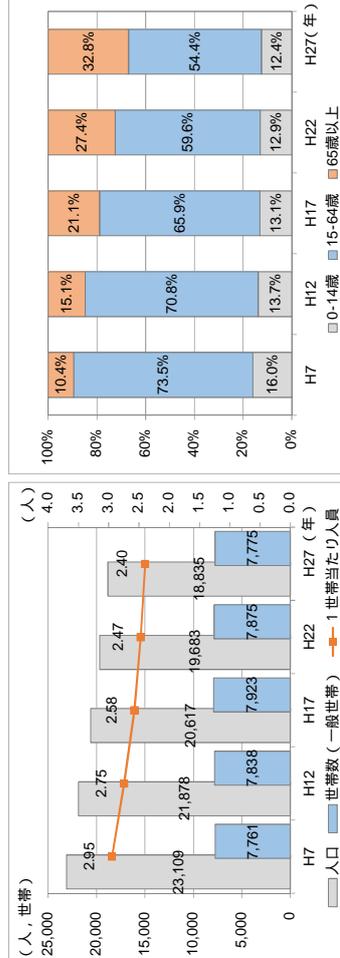
### 第三中学校区

国勢調査による人口は、平成7年以降増加していましたが、平成27年に減少に転じています。少子化、高齢化が進んでいます。高齢化率は3地域の中で最も低くなっています。世帯数は増加していますが、一世帯当たり人員は減少を続けており、世帯の小規模化が進んでいます。



### 南中学校区

国勢調査による人口は、平成7年以降減少を続け、平成22年には2万人を下回りました。少子化、高齢化が3地域の中で最も顕著であり、高齢化率は30%を超えています。世帯数は横ばいで、一世帯当たり人員は減少を続けており、高齢世帯、単独世帯が増えています。



第五次大阪狭山市総合計画策定に向けた意見交換会 2020/02/01・資料

「まちづくり市民会議」  
提言書【中学校区編】

～第五次大阪狭山市総合計画の策定に向けて～

平成 31 年 3 月

第五次大阪狭山市総合計画「まちづくり市民会議」

第五次総合計画の施策体系（素案）

第五次大阪狭山市総合計画策定に向けた意見交換会2020/02/01・資料

【施策の大綱】

【施策】

